

インフルエンザ流行期になりました

11月の半ば、すっかり寒くなりました。今年は夏が暑かったので冬はどんな気候になるのか、気になるところです。10月はCOVID-19患者が増加してましたが、インフルエンザも心配で釧路管内はとうとう注意報が発令されました。今期の特徴やインフルエンザの基本情報などを交えて冬の感染症の代表格、インフルエンザについて取り上げます。

インフルエンザってどんな病気？

インフルエンザウイルスに感染することによって起こる感染症です。一般的な風邪に比べると重症化しやすく、毎年12月～3月に流行することが多いです。

インフルエンザウイルスにはA型、B型、C型などがありますが、ヒトで流行を引き起こすのは主にA型とB型です。

症状は**38度以上の発熱、頭痛、悪寒、関節痛や筋肉痛などの症状**が特徴的。B型では消化器症状で下痢や嘔吐、腹痛なども出現します。

潜伏期間は**1～3日程度**です。

感染経路は**飛沫・接触感染**です。



インフルエンザの治療

インフルエンザの治療薬は内服薬や吸入、点滴があります。

一般的には内服薬を使用することが多いと思いますが、入院が必要な場合や内服が

できない患者さんは点滴をすることが多いです。

内服薬は1日2回、5日間服用する薬と

1回服用するのみの薬があります。

吸入は1回実施する薬と1日2回5日間使用する

薬もあります。吸入はうまく吸えない人には難しい

かもしれません。

インフルエンザの治療で重要なことは症状が出現してから48時間以内に服用または吸入などの治療を開始することです。治療効果が期待できるのは48時間以内とされています。



インフルエンザの今期の特徴

今期は約1か月ほど早く流行が始まったようです。特に、首都圏（東京・千葉・神奈川・埼玉）では1週間で1000人以上報告されました。要因として、海外ですでに流行し、国際的な人の往来が増えたことや猛暑で冷房を使用する時間が増えたこと。冷房使用により乾燥することでウイルスが生き残りやすくなり、鼻やのどの粘膜も乾燥して感染しやすい状態になります。このように複数の要因が重なり、今期の流行が考えられています。症状の特徴として、急な発熱や頭痛が出やすいとのこと。隠れインフルエンザなどと言われるあまり症状の出ない人もいるようで、インフルエンザと思わずに病院に行かないため感染が広がる場合もあるようです。



直近のインフルエンザ発生数

釧路管内警報発令！

インフルエンザ数	全国	北海道	札幌	釧路
10/20～26	24276	1408	818	3
10/27～11/2	57424	4148	2016	45
11/3～9		4709	1617	140

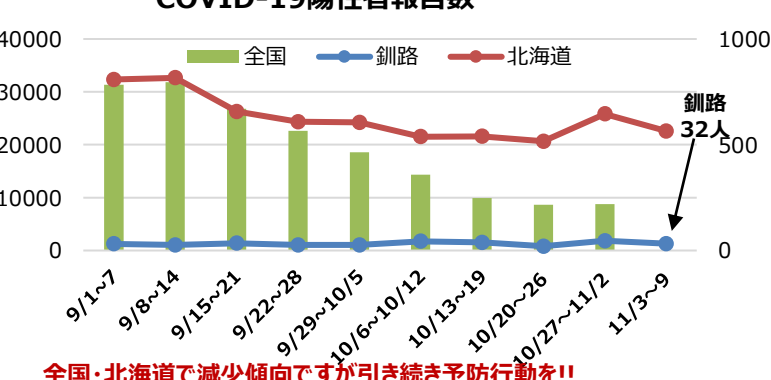
インフルエンザのワクチン

インフルエンザワクチンは接種しましたか？ワクチンはり患しなくなるわけではありませんが重症化を予防します。ワクチン接種後約2週間程度で抗体が獲得します。約5週程度効果があるといわれています。小児は2回、成人では1回接種です。最近では「フルミスト」という経鼻ワクチンが使用されています。このワクチンは注射と違い痛くないですが、**対象年齢「2～19歳未満」**となりますのでご注意ください。当院でも10月よりワクチン接種を開始しています。

当院でのインフルエンザワクチン接種時期は1/30までです。

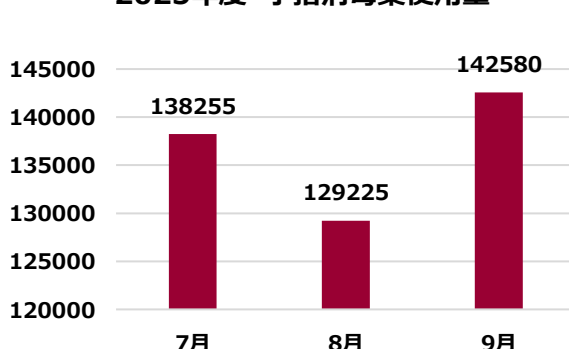


全国 COVID-19陽性者報告数 北海道感染症情報センター公表



全国・北海道で減少傾向ですが引き続き予防行動を!!

2025年度 手指消毒薬使用量



感染症対策のお願い

発熱などの有症状時は直接受診することは控え、病院へ連絡してから来院して下さい。当院への受診の際は必ず、マスク着用をお願いします。また、受診時の付き添いの方は1名までとさせていただきます。面会は個々の患者さんの状態に応じて対応しています。

陽性の方は症状悪化した場合等は診断を受けた医療機関へご相談下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。